令和４年度和歌山県統計グラフコンクール審査講評

令和４年度和歌山県統計グラフコンクールにおいて受賞されました皆様方、おめでとうございます。県下より各部門の合計１８６点(２１２名)の作品が応募されました。

その作品を、テーマの選択、データ理解、統計グラフの表現技術、正確性、要件の充足状況、全体のまとめ方に重点をおいて審査しました。

その結果、特選５点、入選８点、佳作２０点、合計３３点を入賞作品として決定しました。

第１部 小学校１・２年生の作品

第１部の作品からは、特選１点が入賞しました。

「高齢者しらべ」は、高齢者問題に着目し100人というアンケート調査を行い、高齢者の生活が分かるようグラフに表すことができました。グラフを色分けして効果的に表現したり、挿絵を用いたりするなどの工夫があり、自分の考えも詳しく書けました。

第２部 小学校３・４年生の作品

第２部の作品の中から、特選１点、入選２点、佳作４点の合計７点が入賞しました。

「年代べつすきな食べ物ちがうのかな？」は、課題に対して、長期間にわたり、周囲の人に調査を行い、結論として世代別好きな食べ物のランキングをグラフ化した作品です。タイトルや調査結果がひと目で分かるよう色別グラフや挿絵、吹き出しなどを用いて表現することができました。

「ティッシュペーパーどれだけ使っているの？」は、家庭生活に密着したティッシュペーパーに注目し、ＳＤＧｓへの取組として調査を行った作品です。調査の動機や結果予想に対し検証したことを棒グラフや折れ線グラフを活用し、配色もよく、見やすく仕上げることができました。

「ＳＴＯＰ　地球温暖化」は、学習した地球温暖化をテーマとして設定し、アンケート調査したことや調べたことをていねいにまとめた作品です。棒グラフ、円グラフなどを用いて効果的に表現し、考えたことや結論をわかりやすくまとめることができています。

「百人一首大発見」「みんなで守るクマノザクラ」「まち中探検隊！カラーユニバーサル

デザインを考えてみよう！」「重さしらべ～たくさんとれたよ～」は、自分の生活や住んでいる地域の中で、興味を持ったことについて、統計を取ったり、実際に現地に足を運んで状況などを確認したりして、イラストやグラフを用いてまとめ、結果が分かる作品に仕上げられています。台紙とグラフの色の組み合わせも効果的です。

第３部 小学校５・６年生の作品

第３部の作品の中から、特選１点、入選２点、佳作５点の合計８点が入賞しました。

「国に届けよう　大切な一票」は、学校で学習した選挙に興味を持ち、メディアで取り上げられた投票率をテーマに調査した作品です。各種のグラフを用いて結果を整理し、グラフから読み取れることや自分の考えをまとめることができました。

「命のバトン」は、動物愛護をテーマに、動物福祉や保護活動に注目し調査した作品で

す。画像やイラスト、円グラフ・棒グラフを使って、伝えたいことを明確にまとめるこ

とができました。

「ユニバーサルデザイン公園を考えよう」は、学年に応じたテーマに、誰もが過ごしやすい公園についてまとめた作品です。実地調査を行って得たデータを画像や挿絵、グラフを用いてユニバーサルデザインの考え方や価値につて表現することができました。

「さいがいにそなえよう」、「知ろう！和歌山の樹木」、「和歌山は豊かな自然か？」、「使ってる？スマホ決済～持ってますか？１円玉～」、「とまと調べ」では、災害や自分の生活の中で興味を持ったことについて、アンケート調査などを行い、イラストや円・棒グラフを効果的に用いてまとめ、ひと目で結果が分かる作品に仕上げられています。台紙とグラフの色の組み合わせも効果的です。

第４部 中学生の作品

第４部の作品から、特選１点、入選２点、佳作５点の合計８点が入賞しました。

「原発全廃賛成？反対？」は、学校の授業で行うディベートの事前調査として、アンケ

ート調査や調べたことを詳細にグラフ化した作品です。日本の発電の状況、原子力発電

のメリット、デメリットについて各種グラフや表にまとめ、調査結果を根拠に、自分の考えをまとめることができました。

「犬・猫の現状」は、生活に密着した動物をテーマにし、文献をもとに調査したことをまとめた作品です。犬、猫の飼育数の現状や、飼育数の推移などについて、収集したデータを棒グラフ・折れ線グラフ・円グラフなどに表し、自分の考えについても項目ごとに書かれています。

「人口減少を食い止めろ！in和歌山」は、人口減少という現代的課題について、調査したことをデータ化し、それを根拠に課題解決に迫る結論を導き出している作品です。グラフや表を効果的に活用し、グラフから分析したことを項目ごとに的確にまとめています。

「本を読む人　読まない人」、「学校に対する思い!」、「アフリカの人口爆発」、「旅行先魅力度ランキング1位！和歌山県」、「無痛分娩って何？」は、興味を持ったことをテーマに、アンケート調査や参考資料から目的に応じてデータを収集し、多様なグラフを効果的に用いて、分かりやすく色彩豊かにまとめています。調査から導き出した結論や考えも書かれています。

第５部 高校生の作品

第５部の作品から、佳作１点が入賞しました。

「高校２年　１３６人に聞いてみた！レジ袋有料化後の様子」は、環境問題への対策の１つであるレジ袋有料化をテーマに、アンケート調査を実施してわかりやすくまとめた作品です。多数のアンケート調査において、情報収集の方法に工夫が見られ、調査結果や多くの人の声から自分の考えをまとめられました。

パソコン統計グラフの部

パソコン統計グラフの部から、特選１点、入選２点、佳作５点の計８点が入賞しました。

「増える空き家　迫る戦略！」は、少子高齢化や人口減少と並ぶ社会課題である「空き家問題」に注目し、課題と現状等について明瞭にまとめた作品です。多くの視点から情報を収集し、多様なグラフを効果的に活用し、分析したことから、自分の考えや解決策についてまとめることができました。

「空き家リノベでＳＤＧｓ」は、少子高齢化や人口減少と並ぶ社会課題であり、ＳＤＧｓの取組に直結する「空き家」をテーマに、詳細に調査したことをわかりやすくまとめた作品です。また、和歌山県における問題についてもよく調べ、多様なグラフを適切に活用し、自分の考えや方策についてまとめることができました。

「我が家の1日の食事と日本の食料自給率」は、家庭生活に密着した我が国の食料自給率の課題をテーマに、１日の食材とその生産地や食料生産、食料自給率の推移などについて詳細に調査した作品です。視点に対して適切なグラフを用いて分析し、問題解決についての考えをまとめることができました。

「もっと知りたい！ふるさと納税」、「きのくに線の現状」、「パックご飯は米農家を救う！？」、「柔道部員は本当に足が短いのか！？」、「自殺の多い国ＪＡＰＡＮ」は、時事的な観点や学校生活の中から関心の高い事柄をテーマにした作品です。どの作品も収集したデータを多様なグラフ、絵、吹き出しなどを有効に用いて分析しています。

調査から導き出した結論や自分の考えも書かれています。

以上、部門ごとに入賞作品を中心に感想を書かせていただきました。多数の応募ありがとうございました。

これからも、身近な問題、社会・経済・環境問題など、自分が興味・関心を持ったことや課題意識を持ったことについて、調査や観察などを行い、集めたデータを分類、集計、グラフ化し、表現することや分析することの楽しさを体験し、作品作りに励んでください。

次回も多数のご応募を期待しています。